

2018年度

事業報告書

(2018年4月1日から2019年3月31日)

公益財団法人 平和堂財団

事業報告

2018年4月1日から2019年3月31日まで

単位：千円（ ）内は予算

I. 教育振興、教育活動への助成

23,004千円 (23,840千円)

1. 学生並びに生徒に対する育英奨学金の支給

(1) 滋賀県内の高等学校等の本県居住の大学進学者に対する育英奨学金の給付

12,000千円 (12,600千円)

- ① 2018年度から新規給付する奨学生5名と継続給付中の奨学生15名、あわせて20名に、一人当たり月額50千円（年額600千円）の大学進学者育英奨学金12,000千円を前・後期に分け、前期分を5月に、後期分を11月に給付した。

奨学金を給付した奨学生20名は、次のとおりである。

学年	給付開始年	人数
6回生	2013年度	1名
4回生	2015年度	4名
3回生	2016年度	5名
2回生	2017年度	5名
1回生	2018年度	5名

- ② 2018年12月6日に、大学進学者奨学生選考委員会を開催し、応募者27名のうち2019年度から新規給付する奨学予定者5名を選考し、大学合格を前提に、2019年度からの奨学金給付を予約した。

(奨学予定者の補欠もあわせて8名選考)

- ③ 2018年8月19日に奨学生の集いの開催 **210千円 (200千円)**

9名が参加 (1回生4名、4回生3名、OB2名)

(2) 滋賀県内高等学校等の出身者で滋賀医科大学学生に対する育英奨学金の給付

1,800千円 (1,800千円)

- ① 滋賀医科大学で新規1回生1名と継続奨学生2回生・3回生1名ずつに対し月額50千円（年額600千円）の滋賀医科大学育英奨学金を給付600千円を前・後期に分け、前期分を5月に、後期分を11月に給付した。

(3) 滋賀県内の高等学校等の在學生に対する育英奨学金の給付

6,240千円 (6,240千円)

① 2018年11月8日に高校在學生奨学生選考委員会を開催し、2018年度から新規給付する奨学生11名（新入學生対象の奨学生5名／応募者21名及び在學生を対象とした奨学生6名／応募者30名）を選考し、継続給付中の奨学生15名とあわせて26名に一人当たり月額20千円（年額240千円）の高校在學生育英奨学金6,240千円を前期と後期に分け給付した。

なお、新規給付の奨学生には、前期分と後期分を一括して12月に給付した。

奨学金を給付した奨学生26名は、次のとおりである。

(継続給付 15名)

学年	給付開始年度	人数
3年生	2016年給付	5名
	2017年給付	5名
2年生	2017年給付	5名

(新規給付 11名)

	学年	人数
新入學生	1年生	5名
	2年生	4名
在學生	3年生	2名



8月19日「奨学生の集い」



1回生4名・4回生3名・卒業生2名参加

2. 青少年教育活動への助成

(1) 「第10回 いきいきすくすく淡海っ子活動」への助成

2,254千円 (2,500千円)

自然や文化とのふれあいを通して、心豊かで元気な子どもたちの育成を図ることを目的に、日ごろ各地域で子どもたちの育成活動を行っている人たちや団体・グループが、2018年度内に滋賀県内で実施の活動や事業に対し、活動資金の助成を公募。

県内の32団体からの申請があり、2018年7月12日に選考委員会を開催し、21団体を選考し、その活動を支援した。

助成対象 21 団体および助成事業名、交付額は、次のとおりである。

(単位：円)

団体名	所在地	事業名	助成金額
特定非営利活動法人近江八幡市手をつなぐ育成会	近江八幡市	手をつなぐスポレク事業	28,000
特定非営利活動法人子育て研究会	大津市	「音の玉手箱」みつくすじゃむばーていー 2018	233,000
湖西環境研究会	大津市	自然エネルギー体験学習	44,500
湖東理科研究会	彦根市	多賀町星空調査 2018	29,000
特定非営利活動法人障害者の就労と余暇を考える会メロディー	東近江市	定例活動（創作活動と茶道）および作品展	142,000
長浜小学校合唱団	長浜市	「歌で地域を笑顔にする長小合唱団」	250,000
からだスイッチ	湖南市	不器用な小学生を対象とした運動機能向上のための室内活動	40,500
手づくり工房「木之本塾」	長浜市	パパママ応援団「子育て教室」	103,000
NPO法人くさつ未来プロジェクト	草津市	親子TRY部「子どもの冒険★滋賀のお宝を探せ」&「大人VS子どもレゴ対決」	70,000
任意団体くぬぎの森のようちえん	甲賀市	親子で自然体験！！心も体も元気になろう！！	126,500
東近江スポーツ少年団 楽苦備	東近江市	キラリ輝く子どもの可能性を育み、ものがたり（夢）作り	198,000
公益財団法人江北図書館「子どもの学習意欲を育て隊」	長浜市	考えることを喜ぶ子供を増やす。	84,000
河西学区社会福祉協議会 子育て支援部会	守山市	わいわいひろば まが玉作り体験・沖島見学・伝統文化体験	58,000
六条子ども会	野洲市	多世代交流事業（田んぼの学校と試食会、夏祭り、生き物観察会、敬老会発表等）	59,000
野洲吹奏楽団 ジュニアバンド	野洲市	ふれんどりーこんさーと	250,000
おうみ東部おやこ劇場	東近江市	川上じゅん ボイスパフォーマンスショー	43,500
虎姫子ども体験キャンパス実行委員会	長浜市	平成30年度とらひめ子どもぶんか祭	50,500
非営利型一般社団法人日本共育プロジェクト外滋賀踊り活動部	大津市	夏休み子ども踊り指導講習会	250,000
日夏ニュータウン第4区子ども会	彦根市	吹きガラス体験と黒壁スクエア散策遠足	30,000
しがkidsエコクラブ	大津市	池をきれいにするぞ！2018	12,500
ルートプラス	京都市	ルートプラス 無料スポーツ体験会	152,000
			2,254,000

(2) 「滋賀県次世代文化芸術センター」への助成

500千円 (500千円)

すべての子どもたちに、芸術家の方が、本物の芸術に触れる体験の機会をつくることで、豊かな心を育てる文化芸術体験学習の事業に500千円の支援を実施した。(18校で開催)

II. 文化・芸術の振興活動、新進芸術家の育成活動への助成

24, 653千円 (24, 500千円)

1. 新進芸術家活動等への助成

(1) 新進芸術家活動等助成

8, 255千円 (8, 000千円)

① 芸術奨励賞の選考および贈呈

2, 200千円 (2, 700千円)

ア. 美術部門、音楽部門のそれぞれの部門で芸術奨励賞選考委員会を開催し、美術部門は2019年1月16日に書類と作品写真による審査を行い、音楽部門では書類と音源による一次審査をし、2019年1月6日にひこね市文化プラザで二次審査を実演奏で選考した。

なお、美術部門は、近畿・東海・北陸の芸術大学及び県内の文化施設、芸術関係団体などから推薦のあった7名のうちから候補者4名を選考した。

また、音楽部門については、県内の文化施設、芸術関係団体及び全国の芸術大学などの教育機関に一般公募の案内や広報を行い、16名の応募者があり、そのうち候補者2名を選考した。

イ. 2019年3月9日に贈呈式を行い、美術部門4名、音楽部門2名の受賞対象者に美術300千円、音楽500千円の芸術奨励賞、計2,200千円を贈った。

贈呈した芸術奨励賞受賞者6名は、次のとおりである。

・美術部門 4名

梶浦 隼矢 (日本画)

諏訪 智美 (日本画)

中山 悠平 (洋画)

河野 愛 (現代美術)

・音楽部門 2名

リード希亜奈 (ピアノ)

横井 茂虎 (フルート)



② 芸術奨励賞受賞者への活動支援

950千円(1000千円)

- ア. 当財団美術部門受賞者である大町憲治、宮本ルリ子、田中哲也氏他5名が、それぞれ開催する個展に助成した。
- イ. 当財団音楽部門受賞者である若林かをり、宮本妥子、西村裕美子・中井知子氏の開催するコンサートに助成した。

③ 芸術奨励賞(音楽部門)受賞者の海外留学等助成 1,800千円(1,800千円)

当財団の芸術奨励賞受賞者が、更に専門的な知識や技術を修得するために、海外の教育機関へ留学希望者を奨励賞受賞者より公募を行い、2018年1月8日にひこね市文化プラザで演奏を行ない、久津内 瞳氏が助成対象者となった。

海外留学助成者は、次のとおりである。

- ・継続給付(1年目後期)

久保菜々恵(2017年9月～2018年8月分)

- ・新規給付(1年目前期)

久津内 瞳(2018年9月～2019年2月分)

④ 芸術奨励賞受賞者によるミニコンサート(委託費) 3,305千円(2,500千円)

平和堂大型店舗(セントラルコート等)ミニコンサートを企画し、滋賀・京阪・北陸地区大型店16店舗で演奏(2回/日)を実施した。



(2) 「第24回 新進芸術家美術展」の開催（委託費扱い）

4,176千円 (3,800千円)

2002年度～2018年度までの美術部門の芸術奨励賞受賞者46名の作品、50点を一堂に集め、受賞者たちに作品の発表の場を提供し、日ごろの創作活動の成果を紹介するための「第24回新進芸術家美術展」を、滋賀県をはじめ県内の文化、芸術関係団体などの後援と榊平和堂の協賛を得て開催した。

部 門	氏 名	出陳人数	出陳点数
日本画	大西健太、河本万里子、北川安希子 高田学、忠田 愛、早川裕子、藤野裕美子 楠本衣里佳	8	8
洋 画	一居孝明、伊庭広人、宇津木裕子、大西孝幸 岡本里栄、北村美佳、小泉広明、西澤裕一郎 福村真美、藤永覚耶、藤井俊治、山岡明日香 矢野信司、池原悠太、松井亜希子、川端千絵	16	17
彫 刻 彫 塑	伊庭靖二、小野麻代、佐野耕平、吉居寛子	4	4
工 芸 陶漆染	大町憲治、小松純、宮本ルリ子、津守愛香 金井大輔、増田晴香	6	8
書	押谷呉璧、坂本清竹、高井敦史、筒井和彦 野瀬晴風、藤田恭敏、本城研石、川添翠湖 岡田清香、松永大樹、田中希京	11	12
写 真	東山昌弘	1	1



○各会場の開催期間と来場者は、次のとおりである。

・ビバシティ彦根 ビバシティホール

2018年10月20日（土）～10月28日（日）

9日間 936人（昨年788人）

・草津市立クレアホール

*4日はロビーコンサートも開催

2018年10月30日（火）～11月4日（日）

6日間 297人（昨年277人）

(3) 芸術奨励賞受賞者による「第2回鳩の音楽会（通算21回目）」の開催（委託費扱い）

6,122千円（6,500千円）

当財団の、2017年度の音楽部門の芸術奨励賞受賞者たちと、今までの受賞者たちに舞台発表の場を提供するとともに、日ごろの演奏活動の成果を紹介するため20回目開催を記念し、「リサイタルの夕べ」改め「鳩の音楽会」コンサート形式で当年度受賞者と歴代受賞者によるクラシック演奏会とし滋賀県をはじめ県内の文化芸術関係団体などの後援と榊平和堂の協賛を得て、3会場で開催した。

9月22日（土） ひこね市文化プラザ エコホール 315人（昨年316人）

9月23日（日） 高槻現代劇場 中ホール 475人（昨年378人）

9月24日（月祝） びわ湖ホール 中ホール 661人（昨年568人）

	氏名	専攻
一部	中井 萌	打楽器
	山本 大心	ヴァイオリン
	落合 真子	ヴァイオリン
	中路 友恵	打楽器
	萩原 吉樹	ピアノ
二部	久末 航	ピアノ
	栗原 未和	ソプラノ



(4) 音楽部門芸術奨励賞選考会（海外留学生含む）

1,840千円（1,500千円）

（委託費扱い）

2018年度音楽部門の芸術奨励賞選考会開催費用

2019年1月6日ひこね市文化プラザ・エコホールにて開催

2. 文化・芸術活動等への助成

(1) 文化・芸術事業への助成

4,260千円(4,700千円)

助成先	内容	金額
びわ湖芸術文化財団	「2018びわ湖・滋賀の風景展」への協賛・助成とともに優秀作品1点を選び「平和堂財団賞」(賞状および記念品)を授与する。	510千円
びわ湖芸術文化財団	i. オペラへの招待「森は生きている」	500千円
	ii. 声楽アンサンブル学校巡回公演助成	300千円
びわ湖芸術文化財団	次世代育成ユースター音楽劇「教室くん」助成	300千円
文化・経済フォーラム滋賀	文化で滋賀を元気に！賞への助成	300千円
音の扉プロジェクト	小学校訪問演奏会(7小学校で開催)	1100千円
創造授業	学校訪問お話し会・夢の課外授業(2小学校で開催)	300千円
その他	文化・芸術公演等への助成	950千円

その他⇒ ジェリービーンズ 300千円 彦根エコオーケストラ 200千円
 琵琶湖ビエンナーレ 200千円 家族のきずな作文 50千円
 石山高校音楽家50周年記念事業 200千円



Ⅲ. 各種アマチュアスポーツ活動等への助成並びに優秀選手の海外遠征への助成

1,600千円(1,460千円)

1. 優秀スポーツ選手への助成

(1) 優秀選手への海外等派遣費の助成

700千円(560千円)

2019年2月にアマチュアスポーツ（特に高校生）優秀選手10名を選考し、一人当たり70千円の海外等派遣費700千円を助成した。

選手名	高校名	競技種目	派遣大会
遠藤 環太	堅田	カヌー	U-23男子日本代表ジュニア選手権
今西 陸人	堅田	カヌー	アジアカヌースプリント選手権
島田 肇輔	瀬田工業	ボート	アジアジュニア選手権大会
須田 英美子	膳所	ヨット	ユース選手権大会
廣 是るか	長浜北星養護	バスケットボール	スペシャルオリンピックス夏季世界大会
遠藤 帆夏	比叡山	カヌー	カヌースプリントジュニアU23世界選手権大会
今西 愛依	比叡山	カヌー	カヌースプリントジュニアU23世界選手権大会
福田 大晟	比叡山	柔道	ポーランドカデ柔道選手権大会
芳田 真	比叡山	柔道	世界ジュニア柔道選手権大会
奥村 総太	栗東	レスリング	世界ジュニアレスリング選手権大会

2. スポーツ行事・大会等への助成

(1) 「第17回 びわ湖かいつぶりレガッタ」への協賛助成

400千円(400千円)

2018年10月6日（土）に琵琶湖漕艇場（大津市）で開催された「第17回 びわ湖かいつぶりレガッタ」（滋賀県体育協会・滋賀県立琵琶湖漕艇場主催）に協賛し、400千円を助成した。

(2) 平和堂財団杯「小学生駅伝大会」・「中学生駅伝大会」への助成

500千円(500千円)

2018年11月25日（日）に希望が丘文化公園の特設コースで開催された「びわ湖男女駅伝フェスティバル2018」（滋賀県体育協会等主催）での「平和堂財団杯小学生駅伝大会・中学生駅伝大会」に協賛し、助成した。

IV. 地球環境の保全活動及びその研究、教育並びに普及活動への助成

26,742千円 (25,700千円)

1. 環境学習活動等に対する支援

(1) こどもエコクラブ活動への助成

540千円 (700千円)

滋賀県に登録している「こどもエコクラブ」の活動資金を助成し、発表大会でもある活動交流会の参加チームや優秀なクラブへ副賞、また全国フェスティバルへの選抜出場クラブへも助成を実施した。

活動交流会助成	参加賞一件当たり2万円で参加8団体に助成	160千円
優秀賞関連	大賞5万円(1団体)しがkidsエコクラブ	50千円
	奨励賞 2万円(5団体)	100千円
その他	壁新聞掲載賞 1万円(8団体)	80千円
	児童参加商品(下敷き、ノート)100名	50千円
全国フェスティバル	選抜出場「しがKidsエコクラブ」助成	100千円



秋のトチノキ観察会



博物館夏祭り



こどもエコクラブ活動交流会

(2) 子ども環境教育活動への助成

2,071千円 (2,000千円)

学校や地域での教育や環境体験プログラムを通じて子どもたちの自然環境保全の認識を高め、その活動を通し環境推進を目的とする教育活動・研修活動等を支援した。

助成先	内 容	金 額
びわ湖クルーズ・ソーラーボート大会実行委員会	猛暑により2018年8月4日開催を延期。その後、9月22日と10月6日に開催設定したが、天候に恵まれず中止しました。材料費、印刷費等準備で経費使用済。	300千円
環境と科学のフェスティバル実行委員会	2018年7月16日(月・祝)に彦根ビバシティホールで、県内の博物館14団体が連携し、科学を通しての環境学習、体験学習を通して知的研究心の創造を培うことを目的に開催された「博物館夏祭り」に協賛助成した。来場者は1,635人	300千円
びわ湖トラスト	<親子環境学習>・・・財団と共催 ①megumiに乗ってびわ湖環境学ぶ(夏休み2回) ②びわ湖でカヌーに乗って環境を学ぶ(8月7日) ③巨木トチの木を観察し環境を学ぶ(春・秋2回)	775千円 234千円 462千円

2. 地域における環境保全活動への助成

(1) 環境保全活動（夏原グラント）への助成 **15,931千円（15,000千円）**

しがNPOセンター委託費⇒**8,000千円（8,000千円）**

滋賀県及び京都府の豊かな環境の保全および創造のために自主的におこなうNPOや市民団体、または学生を対象に公募を行い、2018年3月3日（土）・18日（日）プレゼンテーションによる選考を実施し、新規34団体応募⇒17団体を選考した。2年目継続16団体応募⇒16団体、3年目継続10団体応募⇒10団体選考した。ステップアップは新規1団体・2年目1団体⇒計2団体を選考した。

<その他取組としては>

ファーストステップ助成⇒1年目6団体・2年目9団体を選考

立ち上げ支援、小規模事業の支援として助成。助成終了後、一般助成への応募が要件となります。最長2年まで継続可とします。

*新規17団体（うち5団体京都エリア）*2年目16団体（うち7団体京都エリア）

*3年目10団体（うち4団体京都エリア*ステップアップ2団体（比良里山クラブ、プロジェクト保津川）

*ファーストステップ15団体（うち5団体京都エリア）

助成団体一覧は13ページ～16ページを参照してください。



山中比叡平里山倶楽部



重利の山を守る会



志津南環境美化ボランティアの会



夏原グラント贈呈式

(2) 世界学生環境サミットへの助成

200千円（0千円）

2018年8月26日～30日まで開催された「世界学生環境サミット2018」に助成。

国外学生75名、国内学生80名参加し、同志社大学びわこリトリートセンター・今出川キャンパス・京田辺キャンパスで開催。

V. 児童福祉事業への助成

11,152千円(11,000千円)

1. 養護児童への助成(滋賀県内児童養護施設等)

(1) 新入学児童(小学1年生)へのランドセル等の贈呈助成 414千円(900千円)

県内児童養護施設等に入所の児童を対象とし、次年度に小学1年生となる児童にランドセル・文具セット及び、ギフト券1万円分を贈呈した。

*合計9名に寄贈(ランドセル8名分、文具セット・ギフト券9名分)

(2) 自動車免許証取得の補助助成 4,013千円(1,800千円)

4月1日現在18歳児童を対象とし、前年10月～当年9月末までの免許取得・申請とする。自動車免許取得時の領収書を参考に上限30万円の助成とする。

*合計14名に助成

2. 養護児童に対する育英奨学金の支給

(1) 滋賀県内児童養護施設の児童で、大学進学者に対する育英奨学金の給付(5月, 11月)

3,000千円(3,000千円)

向学心に燃え、学力、人物ともに優れ、経済的理由で進学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円(年額60万円)の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

*合計5名に助成

(2) 滋賀県内児童養護施設の児童で、専門学校等進学者に対する育英奨学金の給付(5月, 11月)

600千円(1,800千円)

向学心に燃え、学力、人物ともに優れ、経済的理由で進学が困難な者に対し、一人当たり月額5万円(年額60万円)の育英奨学金の給付を在学期間中予約し、有為な人材育成に寄与する。

*合計1名に助成

(3) 上記育英奨学金対象者に入学金・諸経費費用の助成 1,200千円(1,500千円)

(1) (2)の対象者に入学金・諸経費費用の助成をおこなう。

一人当たり初年度30万円(5月)を給付する。

*合計4名に助成

3. NPO法人への助成 1,500千円(2,000千円)

滋賀県内の自立援助ホームへの助成

(運営資金、スタッフ人件費等)

*1カ所(NPO法人 四つ葉のクローバー)に助成

4. その他助成 425千円(0千円)

(1) 里親子支援便利帳製作費助成 225千円

アンケート調査による滋賀県の里親支援現状評価を報告書形式と便利帳製本化

(2) あこがれ先生 200千円

第2回あこがれ先生プロジェクト7月21日(土)ビバシティホール開催助成

2018年度夏原グラント 活 動 団 体 一 覧

<一般助成>

	一 般 助 成 1 年 目	団 体 名 ・ 事 業 名
1	みんなの家EH 遊休農地活用地場産材による甘味防災保存食事業	
2	重利の山を守る会 里山の保全 地域のコミュニティづくり	
3	ヨシネットワーク 「ヨシ群落・水郷・琵琶湖」の魅力を発信・案内するしくみづくり	
4	桂川クラブ 桂川100選 出かけよう桂川へ！	
5	自然住宅情報ひろば 久多の山と遊ぶビーバーの会	
6	特定非営利活動法人 甲賀の環境・里山元気会 里山の整備保全と地域との交流活動 (自然豊かな里山で大人と子供達が一緒に楽しめる音楽会の開催)	
7	志津南環境美化ボランティアの会 緑の手入れを通じての“高齢者支援対策”と“空き家対策”	
8	特定非営利活動法人 モスグリーンEco 琵琶湖ヨシの新たな用途拡大を目指す保育園 室内温度抑制事業	
9	認定特定非営利活動法人 eネットびわ湖高島 ドローン空撮による琵琶湖周辺環境のモニター研究	
10	西の湖ヨシ灯り展実行委員会 西の湖ヨシ灯り展	
11	伊吹くらしのやくそう倶楽部 耕作放棄棚田の再生と伊吹の薬草復活プロジェクト	
12	滋賀県苗木ネットワーク 近江の苗木ニューブーム推進事業～全国植樹祭を成功させよう～	
13	山中比叡平里山倶楽部 野鳥の気持ちを知るプラットフォームづくり (環境教育実践のための野鳥観察施設づくりと野鳥観察会実施)	
14	特定非営利活動法人 ひとつもりデザイン研究所 野の花観音径の自然を知り、郷土の風景を子供たちに伝えるプロジェクト	
15	任意団体 こそだてママnet☆ 鹿背山おやこの森のkichi	
16	荒神山ファンクラブ 荒神山ファンクラブプロジェクト	
17	全日本学生料理協会(学生団体) ASCAFE	

	一般助成2年目	団体名・事業名
1	番場の歴史を知り明日を考える会 古道再生による里山の保全	
2	のりがわエコ水車の会 豊かな水の恵みを活かそう	
3	浜分環境クラブ 休耕農地を活用し、地域に自生し絶滅の恐れのある花菖蒲・杜若・メダカ・タガメ等、水生動植物の保護育成園の整備事業	
4	放鳥's 野性傷病鳥獣の救護追跡事業	
5	かぶと山を守る会 里山の保全と遊歩道の維持管理	
6	森のようちえん だろんこ園 森のようちえん おやこの会	
7	NPO法人 菜の花プロジェクトネットワーク 琵琶湖とともに～沖島『エコの島・安心して暮らせる島』に～	
8	認定特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド 市民共同発電所「おひさま発電所」設置施設と共に進める環境学習	
9	甲賀木の駅プロジェクト運営委員会 甲賀木の駅プロジェクト「森林を愛する人を増やそう計画！！」	
10	特定非営利活動法人 加茂女 竹の魅力発信基地の創設	
11	認定特定非営利活動法人 ブルーシー阿蘇 太陽熱回収用へどろヒートポンプの開発	
12	森協会滋賀県支部 スギ・ヒノキの人工林から命を育む自然の森へ琵琶湖水源の森づくりプロジェクト	
13	金田学区まちづくり協議会 蛇砂川をきれいにし、ホタルの増殖とホンモロコの遡上・育成を促進する事業	
14	特定非営利活動法人 やましろ里山の会 里山農園周辺環境整備事業	
15	NPO法人 国際ボランティア学生協会IVUSA 京都 北山保全活動	
16	特定非営利活動法人 芦生自然学校 京都・美山千年の川プロジェクト～命溢れる川づくり～	

	一般助成3年目	団体名・事業名
1	湖国ひとまちネット 北近江びわこ見守り隊	
2	特定非営利活動法人 家棟川流域観光船 家棟川の生態回廊の再生—ビワマスが遡上する川をつくる	
3	エコパートナーシップうじたわら 協働によるふるさとの自然環境保全を図るための基礎資料調査	
4	特定非営利活動法人 子どもと川とまちのフォーラム 水遊び体験を取り戻す —子どもは川の子プロジェクト—	
5	やす緑のひろば 野洲川北流跡自然の森創生プロジェクト	
6	びわ地域づくり協議会 竹生島タブノキ保全プロジェクト	
7	特定非営利活動法人 社叢学会 伏見稻荷大社 理想の森づくり	
8	鹿背山元気プロジェクト 21世紀の「鹿背山ものがたり」をつくろう～里山と都市の好循環を目指して	
9	特定非営利活動法人 里山保全活動団体 遊林会 Re梵大作戦 ～梵釈寺から始まる里山の再生～	
10	古橋のオオサンショウウオを守る会 大谷川周辺に生息するオオサンショウウオの生態系保全活動	

	ステップアップ助成	団体名・事業名
1	一般社団法人 比良里山クラブ びわ湖流域赤シソ栽培ネットワーキング事業 “Team Hira Perilla”	
2	特定非営利活動法人 プロジェクト保津川 いかだにのってみよう ～山・川・まちのつながりの再生～	

<ファーストステップ助成>

*ファーストステップ助成は、活動実績の年数を問わずこれを機に団体を立ち上げる場合も対象です。

	ファーストステップ助成 1 年 目	団 体 名 ・ 事 業 名
1	桂坂野鳥遊園子ども自然観察会 子ども自然観察会	
2	葉山東学区地域振興協議会 葉山川環境美化推進委員会 葉山東自然を守り育てる事業	
3	志津南『芝桜プロジェクト』 草津市志津南地区調整池等の草地整備	
4	棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト 棚田・里山・古代米・鮎プロジェクト	
5	Tread 里山の記憶にある生物相の環境調査	
6	特定非営利活動法人 自然と歴史ロマンの会 西野山丘陵の里山道と歴史に触れる環境保全に関する実践活動	

	ファーストステップ助成 2 年 目	団 体 名 ・ 事 業 名
1	猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会 猪子山・地獄越え山道整備事業	
2	虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会 虎御前山の里山保全・整備活動	
3	はりえ一期大福会 はりえ・かばた・びわこ感謝祭	
4	宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議(ecoつ宇治) 再生可能エネルギー創出の為に淀川水系の水利用	
5	一般社団法人 秀次家臣団屋敷跡竹林を守る会 八幡山城 豊臣秀次家臣団屋敷跡の竹林整備と市民が親しめる環境づくり	
6	滋賀植物同好会 湖西のハマエンドウの保全活動	
7	中世木ビジョン委員会 桂川の源流域で地域資源を活かした里山、棚田の保全活動	
8	泉エコーくらぶ ふるさとを次代につなぐ！！	
9	環境美化ネット安土 ごみ減量	